

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2005-151358 (P2005-151358A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-022
 【出願番号】特願 2003-388414 (P2003-388414)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

G 0 6 F 12/14 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 7 5 Z

G 0 6 F 12/14 3 1 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 23 日 (2007.1.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

編集可能なデータを保存するデータ保存装置において、
 前記編集可能なデータの中から選択されたデータの時刻認証を要求し、前記時刻認証の結果として時刻情報を取得する時刻認証要求手段と、
 前記時刻認証要求手段により取得した時刻情報を前記選択されたデータに付加して編集不可能なデータを作成する作成手段と、
前記作成手段により作成された編集不可能なデータを保存する保存手段とを備えたことを特徴とするデータ保存装置。

【請求項 2】

保存された編集可能なデータまたは保存された編集不可能なデータの一覧を表示するデータ表示手段と、
 前記データ表示手段により表示された一覧の中のデータの選択を受け付ける選択手段と

、
前記一覧の中から選択されたデータを送信先に送信する送信手段とを備えることを特徴とする請求項 1 記載のデータ保存装置。

【請求項 3】

前記データ表示手段は、前記時刻情報が付加された編集不可能なデータであるか否かの識別を併せて表示することを特徴とする請求項 2 記載のデータ保存装置。

【請求項 4】

保存された編集不可能なデータの一覧を表示するデータ表示手段と、
 前記データ表示手段により表示された一覧の中のデータの選択を受け付ける選択手段と

、
前記一覧の中から選択された編集不可能なデータに付加された時刻情報の検証を要求し、前記時刻情報の検証結果を取得する時刻認証確認手段と、

前記時刻認証確認手段により取得した検証結果を表示する検証結果表示手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のデータ保存装置。

【請求項 5】

前記検証結果、前記編集不可能なデータの保存先を示す保存先情報、または前記検証結果を基に有効と判定された編集不可能なデータのいずれかの印刷指示を受け付ける印刷指示手段を備え、前記印刷指示に従った印刷を要求することを特徴とする請求項4記載のデータ保存装置。

【請求項6】

データをデータ記憶装置に保存するデータ保存方法において、
前記データ記憶装置に保存されている編集可能なデータの中から選択されたデータの時刻認証を要求し、前記時刻認証の結果として時刻情報を取得する時刻認証要求ステップと、
前記時刻認証要求ステップで取得した時刻情報を前記選択されたデータに付加して編集不可能なデータを作成する作成ステップと、
前記作成ステップで作成された編集不可能なデータを前記データ記憶装置に保存する保存ステップとを有することを特徴とするデータ保存方法。

【請求項7】

保存された編集可能なデータまたは保存された編集不可能なデータの一覧を表示するデータ表示ステップと、
前記データ表示ステップで表示された一覧の中のデータの選択を受け付ける選択ステップと、
前記一覧の中から選択されたデータを送信先に送信する送信ステップとを有することを特徴とする請求項6記載のデータ保存方法。

【請求項8】

保存された編集不可能なデータの一覧を表示するデータ表示ステップと、
前記データ表示ステップで表示された一覧の中のデータの選択を受け付ける選択ステップと、
前記一覧の中から選択された編集不可能なデータに付加された時刻情報の検証を要求し、前記時刻情報の検証結果を取得する時刻認証確認ステップと、
前記時刻認証確認ステップで取得した検証結果を表示する検証結果表示ステップとを有することを特徴とする請求項6または7記載のデータ保存方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明のデータ保存装置は、編集可能なデータを保存するデータ保存装置において、前記編集可能なデータの中から選択されたデータの時刻認証を要求し、前記時刻認証の結果として時刻情報を取得する時刻認証要求手段と、前記時刻認証要求手段により取得した時刻情報を前記選択されたデータに付加して編集不可能なデータを作成する作成手段と、前記作成手段により作成された編集不可能なデータを保存する保存手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明のデータ保存方法は、データをデータ記憶装置に保存するデータ保存方法において、前記データ記憶装置に保存されている編集可能なデータの中から選択されたデータの時刻認証を要求し、前記時刻認証の結果として時刻情報を取得する時刻認証要求ステップと、前記時刻認証要求ステップで取得した時刻情報を前記選択されたデータに付加して編

集不可能なデータを作成する作成ステップと、前記作成ステップで作成された編集不可能なデータを前記データ記憶装置に保存する保存ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の請求項1に係るデータ保存装置によれば、編集可能なデータの中から選択されたデータの時刻認証を要求し、前記時刻認証の結果として時刻情報を取得し、前記取得した時刻情報を前記選択されたデータに付加して編集不可能なデータを作成し、前記作成された編集不可能なデータを保存するので、保存されているデータの時刻認証をより簡単に行うことができ、時刻認証後のデータの変更・改竄を防止できる。